

# ユーザーガイド

## Profoto B10X Profoto B10X Plus

他言語は以下にアクセスしてください。

Pour les autres langues, veuillez consulter :

[www.profoto.com/support](http://www.profoto.com/support)





## 新しい Profoto 製品をご購入いただきありがとうございます。 とうございます。

新しいフラッシュやライトシェーピングツールを含む弊社の製品には、ほぼ半世紀に及ぶノウハウが蓄積されています。

長らく弊社が重視してきたのは、わずかな細部にもこだわるということです。わたしたちは、十分に自信の持てるものだけを Profoto の製品としてお届けしています。各製品は出荷前に、多岐にわたる徹底的な検査を受けており、一定水準の性能、品質、および安全性に適合していない製品は出荷されません。

こうして出荷されたプロフォト製品は、お客様を長期的に支援できると確信しています。とはいえ、製品の購入はその過程のほんの始まりにすぎません。ライティングには多様な創意工夫が伴いますが、弊社では、あらゆるライティング方法と幅広いライトシェーピングツールを提供できることを誇りにしております。

ライティングの可能性は無限です。最初は戸惑うかもしれませんが、すぐにコツを掴めるでしょう。

ライティングに関するヒントや詳しい情報は、弊社のニュースレターにサインアップするか、弊社のウェブサイト ([www.profoto.com/jp/profoto-stories](http://www.profoto.com/jp/profoto-stories)) をご覧ください。Profoto のライトシェーピングツールを活用して撮影したプロの写真家による作品をご覧ください。

Profoto 製品をぜひご活用ください。

Conny Dufgran (創業者)

# 一般的な安全上の注意事項



## 安全上のご注意

装置を操作する前に、必ずクイックスタートおよび安全ガイドとユーザーガイドをお読みください。クイックスタートと安全ガイドは常に確認できる場所に保管してください。Profoto製品は屋内での使用を想定して作られています。湿度や強い電磁場にとさらされる可能性のある場所、または可燃性のガスや粉塵のある場所に装置を置いたり、そのような場所で装置を使用したりしないでください。装置に水滴などがつかないようにしてください。花瓶など液体の入った容器を装置の上や近くに置かないでください。水や塵、ほこり、虫などのゴミが製品に混入した場合は、装置に触れずに、Profotoサービスにお問い合わせください。装置を湿度が高い条件下で急激な温度変化にさらさないでください。本体内部で結露が発生する可能性があります。バッテリーの改造、分解、開封、落下、粉砕、穴あけ、60°C以上の加熱、焼却、または細断をしないでください。熱の蓄積を防ぐため、バッテリー（バッテリーパックまたはバッテリーが取り付けられた装置）を直火または直射日光から遠ざけてください。火災や火傷、破裂、爆発、電解液の漏れや破損の危険性があります。排出物は有毒です。漏れや破損が発生した場合は、十分な換気を行ってください。さらされた人を新鮮な空気のある場所に移し、医師の診察を受けてください。バッテリーまたはバッテリーのセルを短絡させないでください。セルから液漏れした場合、液体が皮膚や目に触れないようにしてください。皮膚や目に入った場合は直ちに真水で洗い流し、医師の診察を受けてください。バッテリーが熱くなったり、変色したり、変形したりした場合は、使用を中止してください。他のメーカーのライトを接続したり、ライトシェーピングツールを使用しないでください。前面レンズにひび割れや深い傷など、目に見える破損があり正常に動作しない場合は、使用を中止して正常な製品と交換してください。フラッシュ製品に使用されるタイプのコンデンサは破損する可能性を排除することはできません。破損した場合、フラッシュ製品から煙とともに鋭い臭いが放出することがあります。放出物が顔にかからないようにしてください。もし放出物が目や口に入った場合は、水ですすいでください。放出物は無毒です。電解液が皮膚に触れた場合は、水と石鹸で洗い流してください。電解質は口にしないでください。スタンドを使用するときは、必ず装置がしっかりと取り付けられていることを確認してください。ご使用前にランプヘッドから輸送用キャップを取り外してください。閉所に設置しないでください。製品の周囲には常に換気のためのスペースを残し、換気口を覆わないでください。フィルター、拡散板などを装置の換気の給気口や排気口の上に置いたり、グラスカバー、モデリングランプまたはフラッシュチューブの上に直接置いて換気を妨げないでください。



## 警告 - 感電注意 - 高電圧

ねじ込み式カバーを開けたり取り外したりすると感電する恐れがあります。本製品をご自分で修理しないでください。装置の点検、調整、修理は必ず公認の資格を持つサービススタッフのみが行うものとします。警告 - 稲妻のマークが付いた端子は感電の危険があります。スタジオリイト、ジェネレーターやフラッシュヘッドの蓋を開けたり、分解したりしないでください！装置は高電圧で動作します。フラッシュ、ジェネレーター、またはランプヘッドは、電源オフや電源ケーブルを取り外した場合でも、しばらくの時間は感電の危険があります。チャージャーの主要ケーブルとプラグは、主電源から接続を切るデバイスとして機能します。バッテリーチャージャーを電源から取り外す際には、ケーブルではなくプラグを引き抜いてください。コンセントが装置の近くにあり、簡単に手が届く状態にしてください。正常なフラッシュチューブおよび / またはモデリングライトなしに装置を操作しないでください。



## 注意 - やけどの危険 - 高温部品

高温の部品に素手で触らないでください。モデリングランプやフラッシュチューブを使用すると、特定の金属部品、フロントレンズ、ガラスカバーが使用時に強い熱を発生場合があります！どのランプもごくまれに爆発し、高温の破片が飛び散ることがあります。モデリングランプやフラッシュチューブを人に向ける場合は近づけすぎないようにしてください。



### 警告 - 大きな音

装置から突然大きな音がする可能性があります。聴覚保護具を使用するか、ジェネレーターとユーザー/その他周囲の人との間に34 cm (13 inch) 以上の最低安全距離を取ってください。



### 注意

本製品から有害の可能性がある光線が放射されます。動作ランプを直視しないでください。目を傷める恐れがあります。フラッシュが発光されることを予期していない被写体や重機操作中の人、または予期しないフラッシュにより怪我や危害を引き起こす可能性のある活動を行っている人に向けてフラッシュを発光しないでください。遠く離れた場所からリモートでフラッシュがトリガーされることもありますので注意してください。LED 定常光、最大2500ルーメン、3000~6500K (+/-500K)、CRI90~96。

## NOTICE RF に関する注意事項!

この装置は無線周波数帯を利用し、無線周波エネルギーを発生させます。デバイスの動作は現地の規制に従っていることをご確認ください。本デバイスが使用する周波数帯が他のユーザーによって使用中であることも考えられます。そのため、干渉の可能性を排除することはできません。無線伝送には様々な規制と制限があるため、Profoto B10X/B10X Plus には電力出力設定があります。国によってはフルパワーモードを使用できません。ユーザーガイドで各国ごとのセクションを参照し、各国の規制で許可されている最大電力設定を確認してください。電力出力を低くすると、デバイスの到達距離に影響する点にご注意ください。規制や法令は随時変更されるので、最新のファームウェアとインストラクションを使用していることを確認し、ルールや規制に準拠していることを徹底してください。無線周波数仕様: 2.4 GHz (2404~2479.3 MHz)、<19.9 dBm (中国 <9.9 dBm)

### RF 被曝情報

RF 被曝規制に基づき、エンドユーザーは通常の操作においてデバイスの 1 cm 以内に近づかないでください。



### 最終廃棄処分

製品が寿命に達した場合は、家庭ゴミと一緒に処分しないでください。装置には環境に有害な可能性のあるバッテリー、電気部品および電子部品が含まれています。装置はProfoto販売店に無料で返却いただくことによって、リサイクルに活用することができます。バッテリー、電気部品および電子部品の処分については、それぞれ現地の規制に従ってください。

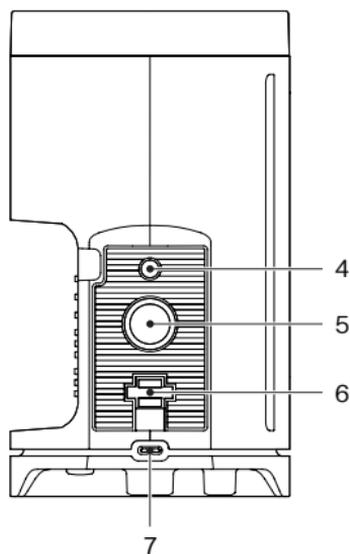
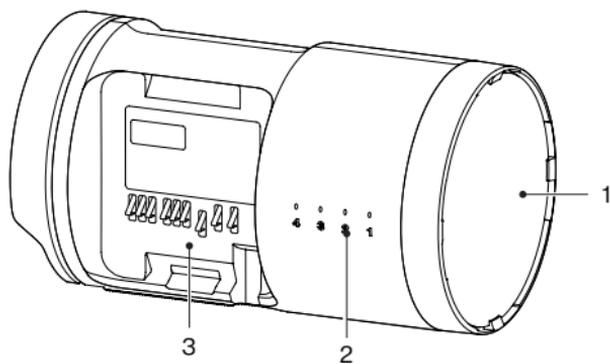


# 目次

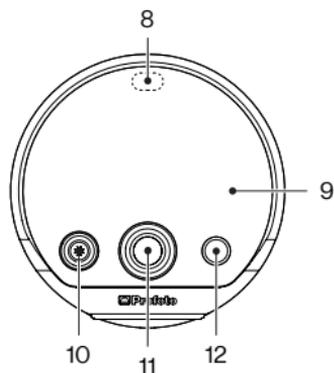
一般的な安全上の注意事項.....	4
各部名称 .....	9
はじめに.....	12
安全義務.....	12
製品登録とファームウェアアップデート .....	12
バッテリーを充電する .....	12
チャージ温度.....	13
使用温度.....	13
バッテリーの保管 .....	13
バッテリーのステータスをチェックする .....	14
バッテリーを取り付ける.....	15
スタンドアダプターを取り付ける.....	16
ライト用スタンドに設置する.....	17
カメラの三脚に設置する.....	18
Profoto ライトシェーピングツールを取り付ける.....	19
フロントグラス、フラッシュチューブ、LED を交換する .....	20
基本的な操作 .....	21
電源オン/オフ.....	21
フラッシュの出力を調整する .....	21
定常光を調整する .....	22
設定メニューのナビゲート .....	23
メニュー設定 .....	24
Air グループ .....	24
Air チャンネル .....	24
Air .....	24
Bluetooth .....	24
IR sync .....	25
フラッシュモード.....	25
定常光 .....	26
詳細設定.....	26
Warning sounds (警告音) .....	27

接続 .....	29
Profoto リモートとの接続を設定する .....	29
Profoto アプリ .....	30
その他 .....	31
お手入れ方法 .....	31
過熱からの保護 .....	31
クイックバースト .....	31
シリアル番号 .....	31
技術仕様 .....	32
保証 .....	35
クレジット .....	35

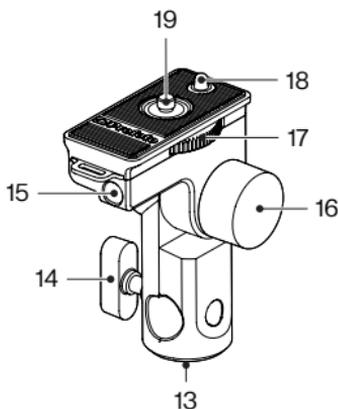
## 各部名称



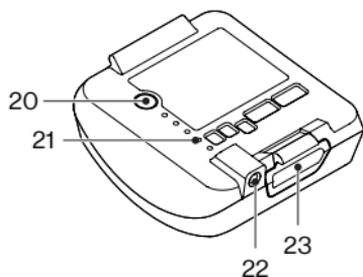
- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. フロントガラスプレート | 5. スタンドアダプター取付位置 |
| 2. ズームスケール     | 6. ストラップ取付位置     |
| 3. バッテリー収納部    | 7. USB-C ポート     |
| 4. 位置調整ピンの穴    |                  |



- |                |             |
|----------------|-------------|
| 8. IRsync アイ   | 11. メインダイヤル |
| 9. ディスプレイ      | 12. テストボタン  |
| 10. 定常光ライトダイヤル |             |



- |                  |              |
|------------------|--------------|
| 13. スタンドスタッドマウント | 17. 取付ねじホイール |
| 14. クランプねじ       | 18. 位置調整ピン   |
| 15. アンブレラホルダー    | 19. 取付ねじ     |
| 16. チルトロックノブ     |              |

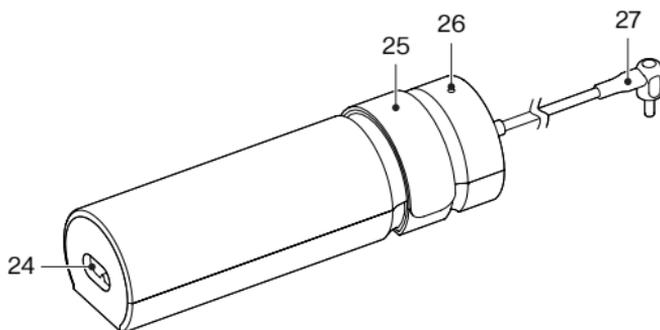


20. バッテリーステータスボタン

21. バッテリーステータスLED

22. バッテリー充電コネクタ

23. バッテリーリリースボタン



24. AC インレット

25. ストラップ

26. 充電ステータスインジケータ

27. バッテリーコネクタプラグ

# はじめに

## 安全義務

B10X / B10X Plus の使用を開始する前に、本ユーザーガイドのほか、クイックスタートおよび安全ガイドをお読みいただく必要があります。製品を安全に操作いただくための重要情報や、規制に関する重要情報が記載されています。多言語に翻訳されたクイックスタートおよび安全ガイドの冊子が B10X / B10X Plus に同梱されています。また、本ユーザーガイドをダウンロードした場所から、同様にダウンロードすることもできます。

## 12

### 製品登録とファームウェアアップデート

ご使用前に、製品登録とファームウェアアップデートが必要です。B10X / B10X Plus を初めて起動すると、Welcome 画面と QR コードが表示されます。この QR コードをスマートフォンでスキャンすると、B10X / B10X Plus のセットアップ方法を説明するウェブページに移動します。

### バッテリーを充電する

バッテリーは、どの充電レベルからでも充電できます。Profoto B10X / B10X Plus に同梱されていた Profoto チャージャー、または Profoto が推奨している他のチャージャーのみを使用してください。

1. バッテリーチャージャーのバッテリーコネクタープラグ [27] をバッテリーのバッテリーチャージャーコネクタ [22] に接続します。
2. チャージャーをコンセントに接続します。
3. チャージャーインジケータ [26] が、充電中であることを示すオレンジ色に点灯していることを確認します。
4. 充電が完了すると、チャージャーインジケータ [26] は緑色になります。充電が終わったら、バッテリーチャージャーを電源及びバッテリーから取り外してください。

## 注記

- ・ お手入れ前や不使用時はバッテリーをコンセントから抜いてください。
- ・ バッテリーを長時間充電したままにしないでください。バッテリーを深放電すると、本書の仕様に記載された時間よりも充電時間が長くなる場合があります。
- ・ バッテリーの充電中は布などの可燃性物質と接触させないでください。
- ・ バッテリーチャージャーのインジケーターがオレンジ色に点滅している場合は、バッテリーエラーが発生しています。Profoto 販売店にお問い合わせください。
- ・ 車中など、気温の高い環境や低い環境に置いていたバッテリーを充電しないでください。バッテリーが適切な温度に達してから充電してください。
- ・ このバッテリーは Profoto 製品とチャージャーにのみお使いいただけます。
- ・ リチウムイオンバッテリー 仕様: 14.4 Vdc、43.2 Wh/3.0Ah
- ・ チャージャー 仕様: インプット 100-240 VAC、50/60 Hz 最大 1.2A / アウトプット 16.8V ~ 3.0A

## チャージ温度

温帯の屋内環境 (約 20°C)

バッテリーはより広い温度範囲 (0~45°C) で充電できますが、高温または低温で充電すると、充電時間が長くなったり、バッテリーの寿命が短くなったりする場合があります。

## 使用温度

-20~60°C / -4~140°F

バッテリーの最適なパフォーマンスと寿命を保つため、温暖な屋内環境 (約 20°C) で使用することをお勧めします。

## バッテリーの保管

バッテリーを長期間保管する場合は、保管前に 50% 充電しておく必要があります。空のバッテリーは長期間、保管しないでください。深放電が起これば、バッテリーセルが破損する可能性があります。使用することなく 6 カ月以上バッテリーを保管した後は、バッテリーの充電レベルを確認するようお勧めします。点灯しているバッテリーステータス LED [21] が 2 つ未満の場合は、保管を続ける前にバッテリーを再度 50% 充電する必要があります。

温帯の乾燥した屋内環境（約20℃）。ほこりや腐食性ガスがないところで保管してください。

短時間に限り、バッテリーをより高い充電レベルで、最高 45℃ までの環境で保管できます。

## バッテリーのステータスをチェックする

バッテリーの充電状況は、バッテリーステータスボタン [20] を押すとバッテリー上で確認できます。

### 14

バッテリーステータスボタンを押すと、バッテリー充電ステータスがバッテリーステータス LED [21] に表示されます。

5 LED:	75~100%
4 LED:	50~75%
3 LED:	25~50%
2 LED:	10~25%
1 LED:	<10%:

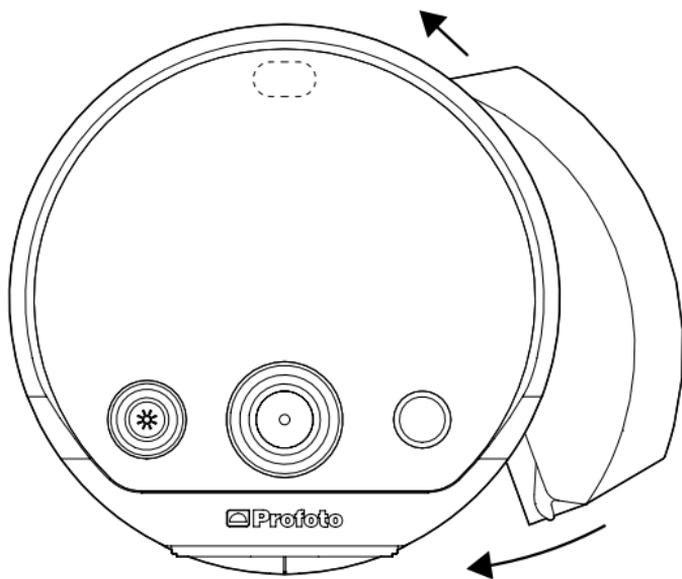
Profoto B10X / B10X Plus の電源を入れた後、バッテリー充電ステータスはディスプレイ [9] の右下にあるバッテリーアイコン  に示されます。

4 セクション:	75~100%
3 セクション:	50~75%
2 セクション:	25~50%
1 セクション:	10~25%
フレームは空:	<10%

Profoto B10X / B10X Plus の電源が入っている場合、使用中にバッテリーを充電すると、ディスプレイ [9] の右下にあるバッテリー充電アイコン  に示されます。

## バッテリーを取り付ける

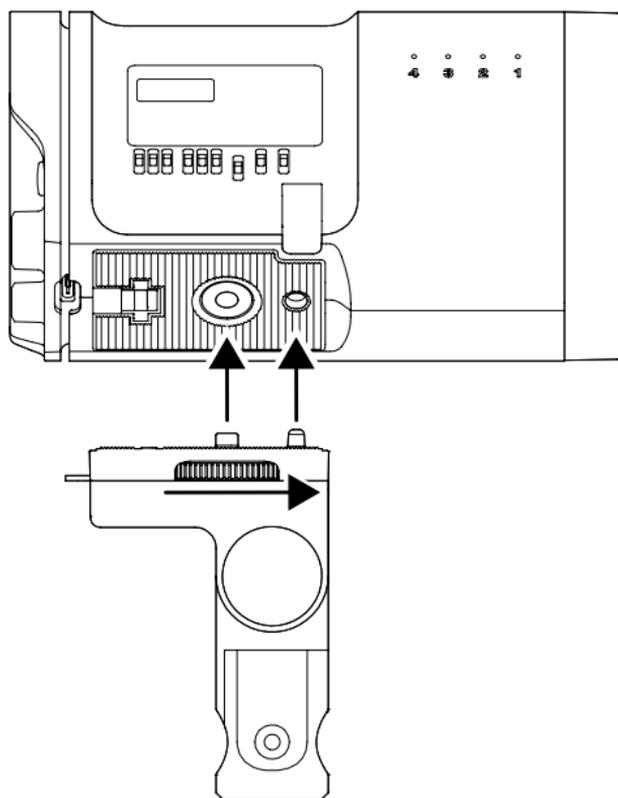
1. バッテリーを取り付けるには、下図のようにバッテリーをB10X/B10X Plusにはめ込み、カチッという音が聞こえるまでしっかり押し込みます。音がすれば、きちんと固定されているということです。
2. バッテリーを取り外すには、まずB10X/B10X Plusユニットをオフにします。バッテリーリリースボタン[23]を押し、バッテリーを引き出します。



## スタンドアダプターを取り付ける

スタンドアダプターを B10X / B10X Plus のスタンドアダプター取付位置 [5] に取り付けます。

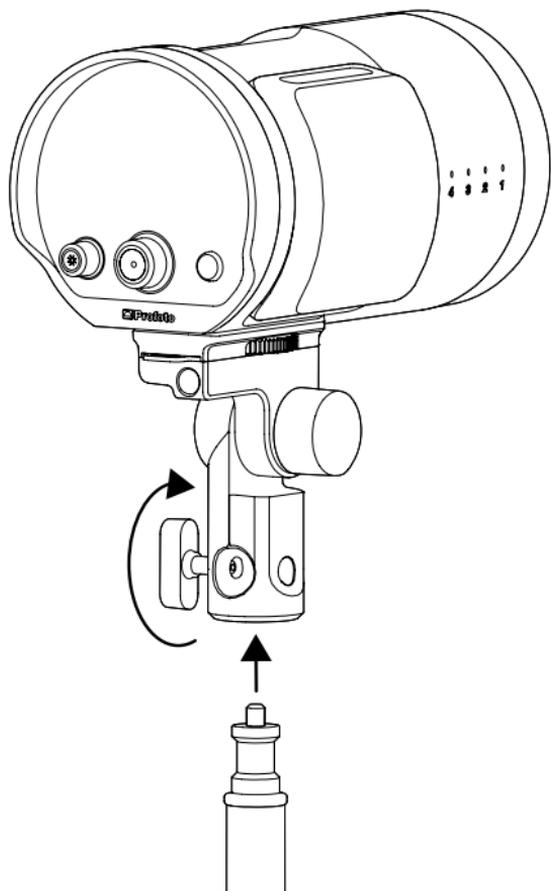
1. 取り付ける前にスタンドアダプターの位置調整ピン [18] が B10X / B10X Plus の位置調整ピンの穴 [4] にはまることを確認します。
2. 取付ねじホイール [17] を使用して、スタンドアダプターが固定されるまで取付ねじ [19] を締めます。



## ライト用スタンドに設置する

B10X / B10X Plus をライト用スタンドに取り付ける前に、スタンドアダプターを取り付ける必要があります。スタンドアダプターを取り付けた後、以下の手順に従ってください。

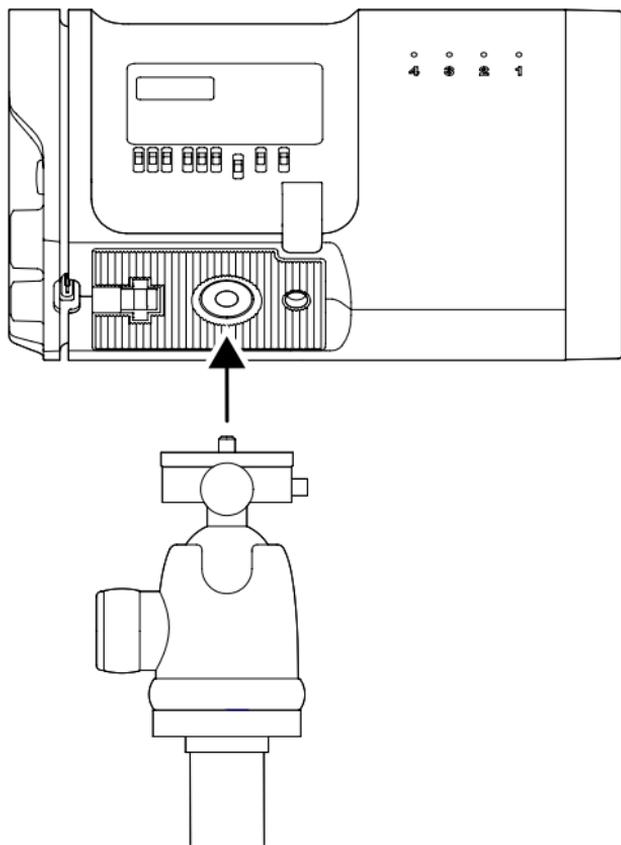
1. スタンドスタッドマウント [13] をスタンドスタッドに取り付け、クランプねじ [14] で固定します。
2. チルトロックノブ [16] をゆるめて、チルトポジションを調整します。
3. チルトロックノブ [16] を締めてチルトポジションを固定します。



## カメラの三脚に設置する

B10X/B10X Plusは簡単にカメラの三脚またはボールヘッドに取り付けられます。

1. B10X/B10X Plusにスタンドアダプターが取り付けられている場合は、まず、これを取り外してください。
2. 三脚またはボールヘッドをB10X/B10X Plus スタンドアダプター取付位置 [5] に取り付けます。



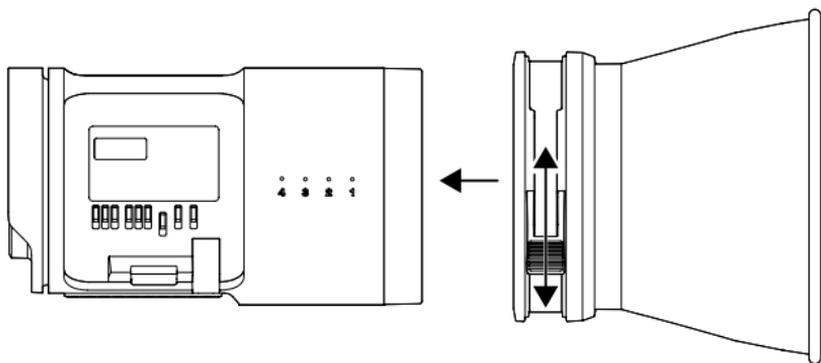
## Profoto ライトシェーピングツールを取り付ける

B10X / B10X Plus は 120 種類以上の Profoto ライトシェーピングツールに対応しています。これらのツールを使うことで、多種多様な性質の光を作り出すことができます。以下の手順以外にも、各ライトシェーピングツールに追加手順があるかもしれないのでご注意ください。

### 標準的なリフレクターマウント (留め具のあるゴム製カラー) でツールを取り付ける

ほとんどのリフレクターには Profoto の独自のクランプ機構が搭載されています。このため、簡単に取り付けられる上、B10X / B10X Plus でズームスケール [2] に沿ってリフレクターを前後にスライドさせるだけで光を形成できます。

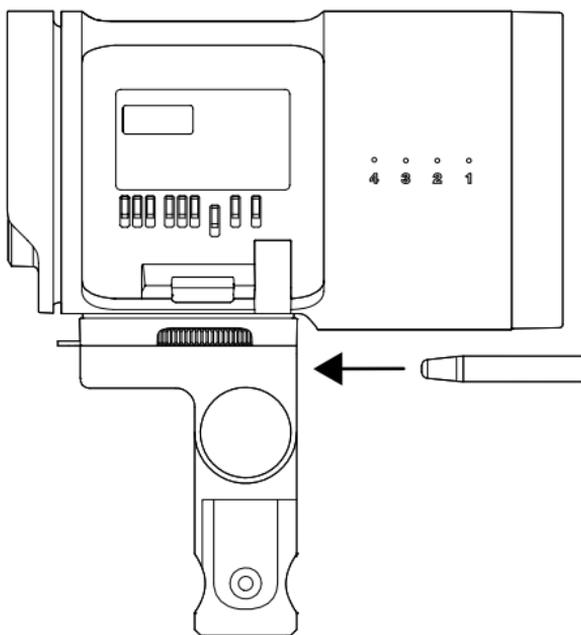
1. リフレクターの留め具をロック解除します。
2. リフレクターをスライドさせ、B10X / B10X Plus の上に動かします。リフレクターの位置を覚えておけるようにズームスケール [2] を使います。
3. リフレクターの留め具をロックしてリフレクターを固定します。



## アンブレラを取り付ける

アンブレラホルダーはスタンドアダプターに統合されています。アンブレラは、アンブレラホルダー [15] 内にアンブレラシャフトをスライドさせると、容易に取り付けられます。アンブレラホルダーにはめるには、アンブレラシャフトの直径は7mm~8mmでなくてはなりません。

1. B10X / B10X Plus にスタンドアダプターを取り付けます。
2. アンブレラシャフトをスライドさせ、摩擦を感じる場所を通過してアンブレラホルダー [15] に入れます。
3. 引き続きアンブレラシャフトをスライドさせ、アンブレラがご希望の位置になるまでアンブレラホルダー [15] に入れます。



## フロントガラス、フラッシュチューブ、LEDを交換する

フロントガラス、フラッシュチューブ、または定常光 LED の交換は、サービス技師のみが実施できます。最寄りの Profoto 正規販売店に連絡し、専門サービスを受けてください。

## 基本的な操作

### 電源オン/オフ

1. 電源を入れるには、テストボタン [12] を長押ししてください。
2. 電源を切るには、テストボタン [12] を長押しします。

B10X/B10X Plus のスイッチをオフにすると、現在の設定が保存され、ユニットのスイッチが再度オンになったときに適用されます。

### 注

節電機能により、B10X/B10X Plus は一定時間、操作が行われなければ、自動的にスタンバイモードに入るか、完全にオフになります。スタンバイや自動オフになるまでの待機時間は、設定メニューで選択できます。

### フラッシュの出力を調整する

フラッシュ出力設定の数値は、大きな太字でディスプレイ [9] に表示されます。出力スケールは 1.0~10 の相対的な f-stop スケールです。最大出力は 10 として表示されます。

フラッシュ出力を変えるにはメインダイヤル [11] を使用します。

- メインダイヤル [11] を回すと、出力を 1/10 f-stop ごとに変えられます。
- メインダイヤル [11] を押して回すと、出力を 1 f-stop ごとに変えられます。
- テストボタン [12] を押すと、フラッシュをテスト発光できます。

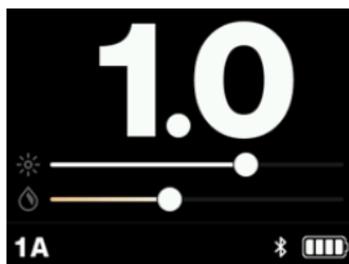
## 定常光を調整する

定常光は設定メニューで「FREE (フリー)」（工場出荷時設定）または「PROPORTIONAL (比例)」に設定できます。

1. 「FREE (フリー)」に設定すると、フラッシュパワーとは別に定常光の明るさを調整できます。
2. 「PROPORTIONAL (比例)」に設定すると、定常光の明るさは常にフラッシュ出力に比例します。

「FREE (フリー)」設定時に定常光を調整する

1. 定常光ダイヤル [10] を押すと、定常光をオンまたはオフにできます。
2. 定常光がオンの場合、明るさと色温度は以下のように2つの別個のバーでディスプレイ [9] に示されます。

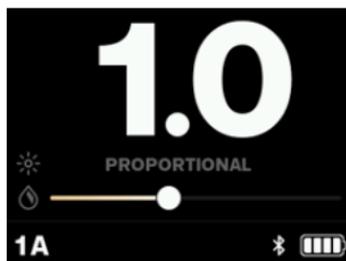


3. 定常光ダイヤル [10] を回すと、明るさを変更できます。
4. 定常光ダイヤル [10] を押して回すと、色温度を変更できます。

「PROPORTIONAL (比例)」設定時に定常光を調整する

1. 定常光ダイヤル [10] を押すと、定常光をオンまたはオフにできます。

2. 定常光がオンの場合、明るさと色温度は以下のようにディスプレイ [9] に示されます。

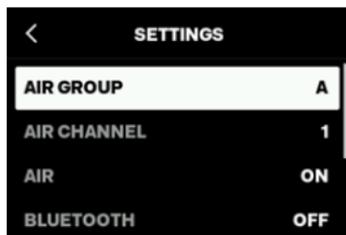


3. メインダイヤル [11] を回すと、出力を変更できます (フラッシュと定常光の双方が比例的に変わります)。
4. 定常光ダイヤル [10] を回すと、色温度を変更できます。

### 設定メニューのナビゲート

B10X / B10X Plus の設定はすべて、設定メニューからアクセスして選択します。

1. メインダイヤル [11] を押して設定メニューに入ります。



2. メインダイヤル [11] を回すと、設定メニューをスクロールできます。
3. 設定を変更するにはメインダイヤル [11] を押してください。一部の設定ではサブメニューが表示されます。
4. 前のメニューに戻るには、定常光ダイヤル [10] を押すか、メニューの最上部で左向き矢印の記号を選択してください。
5. メイン画面に戻るには、テストボタン [12] を押します。

## メニュー設定

下記の設定はすべて、設定メニューからアクセスできます。

### Airグループ

「AIR GROUP (Airグループ)」の設定を使うと、Profoto Air でワイヤレス管理したいグループ (A~F) を選択できます。工場出荷時の設定はグループ A です。

#### 注

「AIR GROUP (Airグループ)」の設定は、「AIR」が「ON (オン)」になっている場合にのみ選択できます。

### Airチャンネル

「AIR CHANNEL (Airチャンネル)」の設定を使うと、Profoto Air を使ってワイヤレスにトリガーしたいチャンネル (1~20) を選択できます。工場出荷時の設定はチャンネル 1 です。

#### 注

「AIR CHANNEL (Airチャンネル)」の設定は、「AIR」がオンになっている場合にのみ選択できます。

### Air

「AIR」設定を「ON (オン)」または「OFF (オフ)」に設定すると、Profoto Air ワイヤレス機能を有効または無効にできます。Air を無効にすると、ディスプレイ [9] の左下に「AIR OFF (Airオフ)」と表示されます。Air を有効にすると、設定されたチャンネルとグループ (たとえば「1A」) がディスプレイ [9] の左下に表示されます。

#### 注

「AIR」が「ON (オン)」の場合は、チャンネルとグループも選択しなくてはなりません。Air の設定方法に関する詳細なガイダンスについては「接続」セクションを参照してください。

### Bluetooth

「BLUETOOTH」の設定を使用すると、Profoto アプリの接続性を管理できます。「Profoto アプリの接続性」セクションを参照してください。

- DISCOVERABLE (検出可能) : 「ON (オン)」を選択すると B10X / B10X Plus を検出できるようになり、「OFF (オフ)」にすると Bluetooth は無効になります。Bluetooth を有効にすると、ディス

プレイ [9] のメイン画面の下部に Bluetooth アイコンが表示されます。

- DISCONNECT (接続切断) :これは、Bluetooth が有効で、Profoto アプリに接続されている場合にのみ選択できます。Bluetooth をオフにせず、Profoto アプリの接続を強制的に切断する場合に選択できます。

## IR sync

「IR Sync (IR シンクロ)」設定を「ON (オン)」または「OFF (オフ)」に設定して、赤外線スレーブセンサーを有効または無効にすることができます。工場出荷時の設定は「OFF (オフ)」です。

### 注

他のトリガー方法 (「AIR」など) を使用する場合は「IR Sync (IR シンクロ)」を「OFF (オフ)」に設定するよう強くお勧めします。

## フラッシュモード

「FLASH MODE (フラッシュモード)」の設定を利用すると、閃光時間優先モードまたは色温度安定性優先モードを選択できます。「NORMAL (通常)」と「FREEZE (フリーズ)」の 2 つの設定から選択できます。工場出荷時の設定は「NORMAL (通常)」です。

- NORMAL (通常) :フラッシュ出力範囲全体で色温度が一貫するよう最適化されます。「NORMAL (通常)」はほとんどのタイプの撮影で最適なフラッシュモードです。
- FREEZE (フリーズ) :フラッシュ出力範囲全体で最短の閃光時間向けに最適化されています。「FREEZE (フリーズ)」は、すばやいアクションをフリーズさせる撮影に最適です。「FREEZE (フリーズ)」を有効にすると、メイン画面に「FREEZE (フリーズ)」と表示されます。

### 注

フラッシュモードの設定は、カメラの X 同調速度より遅いシャッター速度でフラッシュを使用する際にのみ使用できます。ハイスピードシンクロを使い、より短いシャッター速度で撮影する際は 2 つの設定で差異はありません。

本書の「仕様」セクションでは「NORMAL (通常)」と「FREEZE (フリーズ)」の閃光時間と色温度を比べていますのでご覧ください。

## 定常光

「CONTINUOUS LIGHT (定常光)」設定では、定常光の強さを調整する方法を定義します。「PROP (比例)」と「FREE (フリー)」の2つの設定から選択できます。工場出荷時の設定は「FREE (フリー)」です。

- PROP (比例) : 定常光の強さは常にフラッシュ出力の設定に比例します。この設定は、定常光をモデリングライトとして使用する際にお勧めします。
- FREE (フリー) : 定常光の強さは、フラッシュ出力の設定とは関係なく設定できます。この設定は、定常光をビデオライトとして使用する際にお勧めします。

### 注

「PROP (比例)」または「FREE (フリー)」のいずれかを選択した際に定常光を調整する方法については、「定常光を調整する」セクションをご覧ください。

## 詳細設定

### 充電完了信号

「READY SIGNAL (充電完了)」の設定では、フラッシュ発光後に完全にリサイクルされ、再びフラッシュ発光の準備が整ったことを B10X / B10X Plus で示す方法を設定します。4つの設定から選択できます。

- SOUND (サウンド) : リサイクルしてフラッシュの準備が整うと、B10X / B10X Plus はビーッと音が鳴ります。
- DIM (ディム) : フラッシュの後で定常光はオフになり、B10X / B10X Plus がリサイクルしてフラッシュの準備が整うとオンになります。
- SOUND & DIM (サウンドとDIM) : B10X / B10X Plus はサウンドとDIMの両方で信号を出します。
- OFF (オフ) : B10X / B10X Plus は、フラッシュの準備ができたことを示す信号を出しません。これは工場出荷時の設定です。

### 注

テストボタンは発光後必ずOFFになり、B10Xの充電が完了すると再びONになります。

## Control sounds (操作音)

「CONTROL SOUNDS (サウンドのコントロール)」を「ON (オン)」または「OFF (オフ)」に設定すると、コントロールノブとボタンのサウンドを有効または無効にできます。工場出荷時の設定は「ON」です。

## Warning sounds (警告音)

警告音設定では、誤露出アラーム音を有効化または無効化します。

### 注

EXP インジケーターは、警告音設定にかかわらず、誤露出アラームが作動する際には必ずメニューディスプレイ [8] に一時的に表示されます。

## Display brightness (ディスプレイの明るさ)

「DISPLAY BRIGHTNESS (ディスプレイの明るさ)」の設定を使用すると、ディスプレイの明るさを設定できます。4つの設定から選択できます。

- AUTO (自動) : ディスプレイの明るさは、環境光に基づいて自動的に調整されます。これは工場出荷時の設定です。
- MAX (最大)
- MEDIUM (中)
- LOW (低)

## スタンバイ

「STANDBY (スタンバイ)」の設定では、B10X/B10X Plus がバッテリーを節約するためにスタンバイモードに入るまでの待機時間のタイマーを設定します。4つの設定から選択できます。

- 5 MIN (5分) : B10X/B10X Plus は5分間待機した後、スタンバイモードになります。
- 30 MIN (30分) : B10X/B10X Plus は30分間待機した後、スタンバイモードになります。これは工場出荷時の設定です。
- 1 HOUR (1時間) : B10X/B10X Plus は1時間待機した後、スタンバイモードになります。
- NEVER (そのまま) : B10X/B10X Plus はスタンバイモードになりません。

## Auto off (自動OFF)

「AUTO OFF (自動オフ)」の設定では、B10X / B10X Plus がバッテリーを節約するためにオフになるまでの待機時間のタイマーを設定します。

3つの設定から選択できます。

- 15 MIN (15分) : B10X / B10X Plus は 15 分間待機した後、オフになります。
- 1 HOUR (1時間) : B10X / B10X Plus は 1 時間待機した後、オフになります。これは工場出荷時の設定です。
- NEVER (そのまま) : B10X / B10X Plus は自動的にオフになりません。

### 注

スタンバイ機能と自動オフ機能を両方とも無効にした場合、待機状態のバッテリー持続時間は約8時間です。

## 概要

「ABOUT (概要)」セクションには、シリアル番号やハードウェア、インストールされているファームウェアなど、ユニットに固有の情報が表示されます。

## Regulatory info (規制情報)

このセクションには、規制に関する情報が表示されます。

## Factory reset (出荷時の設定に戻す)

「FACTORY RESET (初期設定にリセット)」を使用すると、あらゆる設定が工場出荷時の設定にリセットされます。

## 接続

B10X / B10X Plus には Profoto AirX 接続が内蔵されています。AirX は、AirとAirTTLに続く第3世代のProfoto無線接続です。

AirXは以下をサポートしています。

- Profoto Air/AirTTL 対応リモートでの無線 Air/AirTTL 機能。
- AirX 対応 Profoto リモートおよびアプリでの専用 AirX 機能。

### Profoto リモートとの接続を設定する

以下は B10X / B10X Plus での基本的な設定手順のみ記載しています。詳細な操作手順については、お使いの Profoto リモートのユーザーガイドを参照してください。

1. B10X/B10X Plus 設定メニューで Air を ON に設定します。
2. B10X/B10X Plus メインメニューで、Profoto リモートで設定したチャンネルと同じものを選択します。
3. B10X/B10X Plus メインメニューで、グループ (A~F) を割り当てます。

### Profoto リモート使用時のオート (TTL)

オート (TTL) の場合、Air チャンネルとグループ設定が完了していれば、B10X / B10X Plus での特別な設定は必要ありません。お使いの Profoto リモートでオート (TTL) とマニュアル (MAN) を切り替えて、リモートがフラッシュを自動で調整するかマニュアルでコントロールするかを選択するだけです。

B10X/B10X Plus は、リモートをマニュアル (MAN) に切り替えた場合、オート (TTL) で設定した出力を維持します。これにより、いわば「露出計」としてオート (TTL) をマニュアル調整の開始点に利用することができます。

リモートによりオート (TTL) が有効になると、**AUTO** インジケーターが出力ディスプレイ [9] または [10] に一時的に表示されます。

リモート上でオート (TTL) グループ調整がされていると、オフセットを含めて **AUTO** インジケーターが出力ディスプレイ [9] または [10] に一時的に表示されます。

## Profoto リモート使用時のハイスピードシンクロ (Hi-S)

ハイスピードシンクロ (Hi-S) の場合、Air チャンネルとグループ設定が完了していれば、B10X / B10X Plus での特別な設定は必要ありません。ハイスピードシンクロはリモートまたはカメラで有効化されます。

リモートによりハイスピードシンクロが有効になると、**Hi-S** インジケーターがメニューディスプレイ [8] に一時的に表示されます。

## Profoto アプリ

Profoto アプリでは新機能を継続的にアップデートしています。また、B10X/B10X Plusの最新機能のアップデートやバグ修正も、アプリからアクセスできます。

Profoto アプリを利用するメリットの一部を紹介します。

- 簡単な登録とアップデート。購入製品を登録すれば簡単に B10X / B10X Plus の最新アップデートを入手できます。
- スマートなリモートコントロール。スマートフォンの画面から B10X / B10X Plus をコントロールできます。
- スマートフォンカメラでの撮影。スマートフォンでの写真撮影に本物のフラッシュを利用いただけます。

2021 年 3 月現在、Profoto アプリは App Store、Google Play、Huawei AppGallery から入手できます。Profoto アプリの詳細については、Profoto.com をご覧ください。

Profoto アプリを B10X / B10X Plus に接続するには、Bluetooth を有効にする必要があります (Main menu navigation をご覧ください)。次に Profoto アプリを起動してアプリ内の指示に従います。

## その他

### お手入れ方法

ユニットを掃除するには、中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いてください。別の柔らかい乾いた布で拭きとります。

### 過熱からの保護

B10X / B10X Plus が内蔵過熱保護機能が有効になる温度レベルに達すると、温度制限インジケーターがディスプレイ [9] のメイン画面に表示されます。この場合、温度が許容可能なレベルに戻るまでパフォーマンスが制限されます。

### クイックバースト

クイックバーストは、B10X / B10X Plus がリサイクルされるよりも早いペースで一連（バースト）のフラッシュ発光を可能にする機能で、自動的に有効になります。この機能は、光が最大出力未満に設定されている場合にのみ有効になります。バーストの長さ、フラッシュの数は、繰り返しの速さと設定した光の出力によって異なります。光の出力が低く設定されているほど、バーストを長時間にわたってトリガーすることができます。この機能のおかげで、B10X / B10X Plus は最初のフラッシュの後、間隔をあげずに、フル出力未満の出力で1秒当たり最大20回のフラッシュをトリガーできます。クイックバーストが有効化された場合、ライトの出力精度がやや低下することにご注意ください。

### シリアル番号

シリアル番号はB10X / B10X Plus のバッテリーパックの下に印刷されています。また、ディスプレイ [9] で「SETTINGS (設定)」>「ADVANCED (詳細)」>「ABOUT (概要)」と進んで確認することもできます。

## 技術仕様

フラッシュ	Profoto B10X	Profoto B10X Plus
最大発光量	250Ws	500Ws
サイズ		
直径	10 cm (3.9")	10 cm (3.9")
長さ	17.5 cm (6.9")	23.5 cm (9.3")
重量 (スタンドアダプターを除く)	1.3 kg (2.8 lbs)	1.7 kg (3.7 lbs)

すべての技術データは公称値で、Profoto はさらなる予告なしにこれを変更する権利を保持しています。

B10X		通常モード		フリーズモード	
		閃光時間		閃光時間	
エネルギー (スケール)	エネルギー (Ws)	t0.1(s)	t0.5(s)	t0.1(s)	t0.5(s)
10.0	250	1/400	1/1300	1/400	1/1300
9.0	125	1/650	1/1400	1/1500	1/1800
8.0	62.5	1/1000	1/1500	1/2800	1/4100
7.0	32	1/1400	1/1600	1/4300	1/8000
6.0	15	1/1800	1/2100	1/5800	1/13000
5.0	8	1/2100	1/2700	1/7700	1/17000
4.0	4	1/2600	1/3300	1/9900	1/19000
3.0	2	1/2800	1/3700	1/12000	1/25000
2.0	1	1/3300	1/4600	1/15000	1/50000
1.0	0.5	1/4900	1/7000	1/14000	1/42000

技術仕様の詳細については、Profoto.com をご覧ください。

B10X Plus		通常モード		フリーズモード	
		閃光時間		閃光時間	
エネルギー (スケール)	エネルギー (Ws)	t0.1(s)	t0.5(s)	t0.1(s)	t0.5(s)
10.0	500	1/390	1/1200	1/390	1/1200
9.0	250	1/500	1/1300	1/1200	1/1700
8.0	125	1/800	1/1400	1/2200	1/4000
7.0	62.5	1/1300	1/1500	1/3500	1/6000
6.0	32	1/1600	1/1600	1/5000	1/8000
5.0	15	1/1900	1/2400	1/6400	1/11000
4.0	8	1/2300	1/3000	1/7900	1/14000
3.0	2	1/2700	1/3600	1/9400	1/20000
2.0	1	1/3400	1/4800	1/12000	1/25000
1.0	0.5	1/4100	1/6000	1/14000	1/35000

技術仕様の詳細については、Profoto.com をご覧ください。

## 保証

保証情報はこちらをご覧ください。<https://profoto.com/support/warranty>

## クレジット

App Store は、米国および他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

Google Play および Google Play のロゴは、Google LLC の商標です。

HUAWEI および AppGallery は、中国およびその他の国で登録された Huawei Technologies Co. Ltd の商標です。

Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。Profoto による当該マークの使用はすべて、ライセンスに基づいて行われています。

その他の商標と商品名は各所有者の所有物です。





Profoto AB  
Box 1264,  
17225 Sundbyberg  
Sweden

+46 (0) 8 447 53 00  
info@profoto.com  
www.profoto.com

 **Profoto**

技術データと製品情報は予告なく変更される場合があります。

PGM0024-0000 A2. 2022 年 11 月。スウェーデンにて印刷。